災害時要援護者・介助者体験訓練説明資料（電気系・情報学部）

教員用

訓練の目的

　視覚障がいの方や聴覚障がいの方（災害時要援護者）が、災害時にどのような状況におかれるか、またその介助者としてどのような支援が必要なのかを模擬体験し、その体験を通して災害時における災害時要援護者の方への支援のあり方について各自が考え、学ぶことを目的とする。

訓練参加者

電気系・情報学部の学生、教員

①誘導役

情報通信工学科：山口　実靖、小林　亜樹

コンピュータ科学科：三好　和憲

情報デザイン学科：張　珏

②要援護者役・介助者役：学生約50名

訓練の主な流れ

（訓練の進捗状況により下記時間が前後することもあります）

13時：3階アーバンテックホール集合

　　ホール入り口にてゼッケン（白色）を配布

13時から13時15分：訓練説明、訓練備品の配布

誘導役→腕章を配布

要援護者役・介助者役→アイマスクまたは耳栓、筆談用道具を配布

13時15分頃から30分：誘導役教員の誘導で新宿駅地下広場へ移動

アーバンテックホール→大学B1階→南側地下道→新宿駅地下広場

※誘導時の隊列編成は別添1参照、誘導ルートは別添2参照、待機場所は別添3参照

※誘導役は腕章を着用

13時30分：災害時要援護者・介助者体験訓練準備

　　誘導役教員→訓練の準備を指示

要援護者役・介助者役→アイマスクまたは耳栓を着用、筆談用道具準備

13時35分頃：誘導役の指示・誘導で訓練開始

　　新宿駅地下広場→南側地下道→新宿中央公園

　　※誘導時の隊列編成は別添1参照、誘導ルートは別添2参照

14時頃：角筈出張所職員により新宿中央公園へ受入開始

14時15分頃：角筈出張所職員の誘導により体験型訓練会場に参加

16時頃：体験型訓練終了、アンケートの実施・回収、記念品贈呈、解散

訓練の内容

13時：3階・アーバンテックホール集合

誘導役、要援護者役、介助者役

○アーバンテックホール入り口でゼッケン（白色）を受け取る

○スタッフの指示に従い、アーバンテックホール内の指定場所へ移動

13時から13時15分：訓練説明、訓練備品の配布

誘導役（教員）

訓練内容：要援護者役と介助者役を安全に誘導する

○スタッフより腕章を受け取る

○誘導経路を確認する

○誘導役の学生2名を選定する

○下記の訓練内容を要援護者役・介助者役の学生に説明する

※参加者へ各自で荷物管理を行うように指示してください。

要援護者役、介助者役の訓練内容

　訓練内容：要援護者役と介助者役が2人1組で行動し、要援護者と介助者を模擬体験する

☆視覚障がいの方を模擬した要援護者：アイマスクを配布

アイマスクを着用し、介助者の誘導で移動する

☆視覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者

転倒事故などがないよう、経路中の段差や通行人に注意しながら要援護者を安全に誘導する

　　☆聴覚障がいの方を模擬した要援護者：耳栓、筆談用具（ペン、紙、画板）を配布

耳栓を着用し、筆談にて介助者と意思疎通しながら介助者の誘導で移動する

　　☆聴覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者：筆談用具（ペン、紙、画板）を配布

筆談にて要援護者と意思疎通しながら、要援護者を安全に誘導する

13時15分頃から30分：誘導役教員の誘導で新宿駅地下広場へ移動

アーバンテックホール→大学B1階→南側地下道→新宿駅地下広場

誘導役（教員）

　○ゼッケンと腕章を着用する

　○要援護者役と介助者役にゼッケンを着用するように指示する

○別添2に示す誘導ルートに従い、要援護者役・介助者役を別添1の隊列編成により別添3の待機場所まで誘導する

　○誘導役の学生に隊列後方より要援護者役・介助者役の安全確認をしながら別添3の待機場所まで誘導するように指示

　※訓練当日は新宿警察署による誘導・警備はありませんので、誘導中の安全には十分にご注意願います。また、警察署からの指示により別添1に示す隊列編成で誘導をお願いいたします。

13時30分：災害時要援護者・介助者体験訓練準備

誘導役（教員）

○要援護者役・介助者役に配布した訓練備品の着用を指示する

☆視覚障がいの方を模擬した要援護者：アイマスクを着用

　☆聴覚障がいの方を模擬した要援護者：耳栓を着用、筆談用具を準備

　☆聴覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者：筆談用具を準備

○以下を要援護者役・介助者役の学生に指示する

要援護者役、介助者役への指示内容

・要援護者役と介助者役が2人1組で行動する。

・誘導途中、誘導役より指示があったら、要援護者役と介助者役を交代する。

　・視覚障がいの方を模擬した要援護者は、アイマスクを着用し、介助者の誘導で移動する。危険だと感じたら、すぐにアイマスクを外し、訓練を中止する。

・視覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者は、転倒事故などがないよう、経路中の段差や通行人に注意しながら要援護者を安全に誘導する。

　・聴覚障がいの方を模擬した要援護者は、耳栓を着用し、筆談にて介助者と意思疎通しながら介助者の誘導で移動する。

　・聴覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者は、筆談にて要援護者と意思疎通しながら、要援護者を安全に誘導する。

13時35分：誘導役の指示・誘導で訓練開始

新宿駅地下広場→南側地下道→大学B1階

誘導役（教員）

○誘導途中、適当な場所で要援護者役と介助者役の交代を指示する

○別添2に示す誘導ルートに従い、要援護者役・介助者役を別添1の隊列編成により新宿中央公園まで誘導する

○誘導役の学生に隊列後方より要援護者役・介助者役の安全確認をしながら新宿中央公園まで誘導するように指示する

　※訓練当日は新宿警察署による誘導・警備はありませんので、誘導中の安全には十分にご注意願います。また、警察署からの指示により別添1に示す隊列編成で誘導をお願いいたします。

14時頃：角筈出張所職員により新宿中央公園へ受入開始

※角筈出張所職員が西口現地本部へ防災無線にて学生ボランティアの派遣要請

誘導役（教員）

　○新宿中央公園にいる角筈出張所職員の指示に従い、要援護者役と介助者役を公園内の体験型訓練会場へ移動するように伝える。

　○介助者役の学生に要援護者役へ状況を伝えるよう指示する。聴覚障がいの方を模擬した要援護者の介助者には筆談にて状況を伝えるよう指示する。

14時15分頃：角筈出張所職員の誘導により体験型訓練会場に参加

誘導役（教員）

　○角筈出張所職員の指示に従い、自分が担当した要援護者役・介助者役学生のグループ（概ね25名単位）を、四谷消防署主催の体験型訓練会場（初期消火訓練：水消火器、応急救護訓練：三角巾、煙体験）へ誘導する。ぜひこの機会に先生方も様々な訓練にご参加ください。

○要援護者役にはアイマスクまたは耳栓を外すように、また介助者役には筆談用道具をしまうように指示し、要援護者・介助者体験訓練の終了を伝える。

※新宿中央公園内で行われている学生ボランティアの活動訓練（新宿区、NTT東日本）の一環として、171体験などへの誘導もあるかと思いますので、その際には学生ボランティアの指示に従って、学生を訓練に参加させてください。

16時頃：体験型訓練等終了、アンケートの実施・回収、記念品贈呈、解散

誘導役（教員）

○訓練後、今回の訓練に関するアンケートを新宿中央公園内で実施するので、参加した学生にアンケートの実施を呼びかけてください。アンケートが訓練参加の出席表になりますので、その点もお伝えください。

　○アンケートと引き替えに、記念品を渡します。

　○上記が終了したら、各自解散となります。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願いします。

別添1

誘導時の隊列編成



別添2

誘導ルート図



別添3

新宿駅西口イベントコーナー待機場所

名称未設定 1.tif

斜線部分に待機をお願いいたします